

このたびは、モデリスタ商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。
本書は、バックドアエアロプレートの取付要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読み頂き、正しい取り付けを行なってください。

取り付け上の注意事項

- 部品に傷を付れたりしない様に取り扱いに注意して作業を行なってください。
- 商品の仮合わせ時等においては、マスキングテープ等で車両側への傷付き防止策を行なった上で実施してください。
- 両面テープを貼り付ける部分は、必ず脱脂してください。
脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれる場合があります。
- バックドアエアロプレートを取り付ける部品の汚れ、ゴミ、ホコリをウエスで拭き取ってください。
- 両面テープの接着力促進剤として、必ず両面テープ用プライマーを塗ってください。
(PACプライマー-K500を本品に添付)
- 重要** プライマーの効力を発揮させる為、塗布後、常温で10分間以上放置し乾燥させてください。
- 重要** ■ 両面テープは、外気温が20℃以下になると接着力が低下しますので、両面テープ及び被接着面をドライヤー等で温めてから貼り付け作業を行なってください。
- 両面テープのプライマーは、溶剤が揮発する為、速やかに作業を終了してください。
- 両面テープのプライマーは、特に塗装面を黄変させますので必ず塗装面をマスキングし、はみだしたプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- 重要** ■ 両面テープの圧着を十分に行ってください。49N (5kgf) 以上

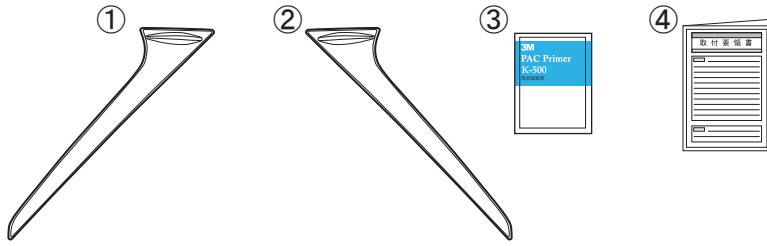
取り付け完了後の点検・注意事項

- バックドアエアロプレートが、車両に確実に貼り付けされているか点検してください。
- 両面テープの全ての離型紙が剥がされ、確実に圧着されているか点検してください。
- 取り付け完了後、バックドアエアロプレート及び車両部品に傷がついていないか点検してください。
- 取り付け完了後、**24時間**は強い力をかけたり、雨等で濡れない様注意してください。
(両面テープの剥がれ、車両とバックドアエアロプレートとの間に隙間が発生する恐れがあります。)



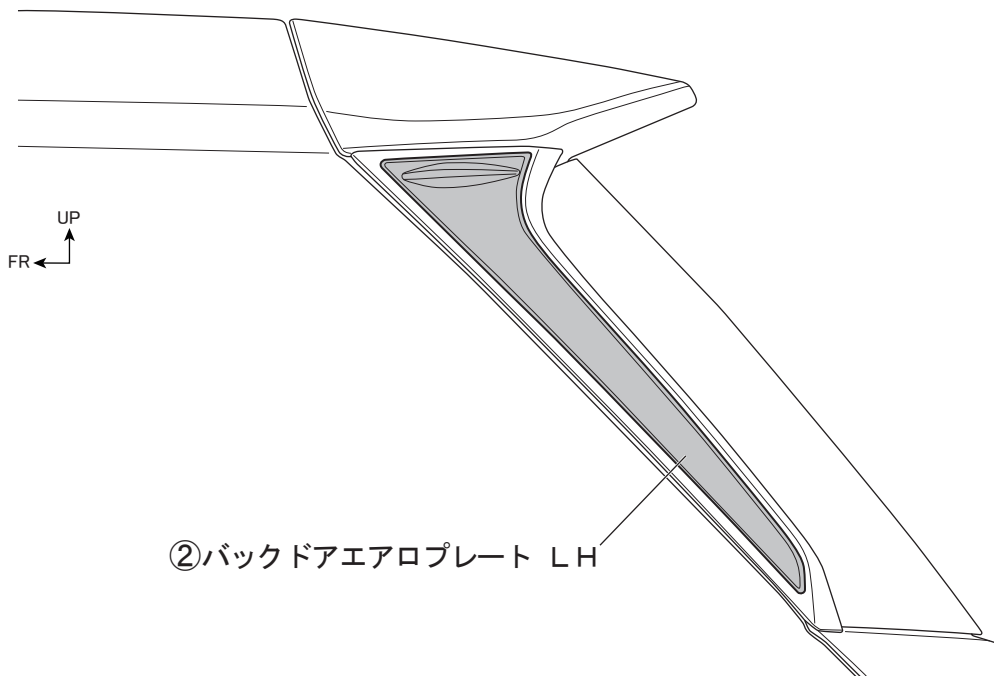
アドバイス…この取付要領書では、スピーディーに安全な作業をして頂く上で知っておいて頂きたい事を左図マークで表示しております。

構成部品



No.	品名	個数
①	バックドアエアロプレート RH	1
②	バックドアエアロプレート LH	1
③	PACプライマー-K-500	1
④	取付説明書	1

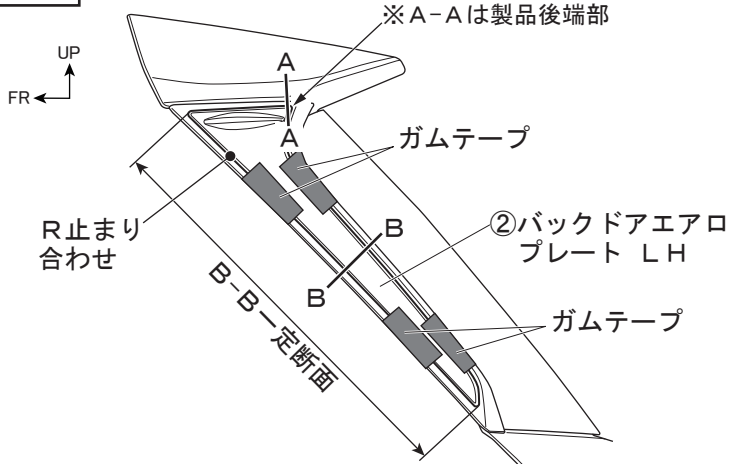
取付概要



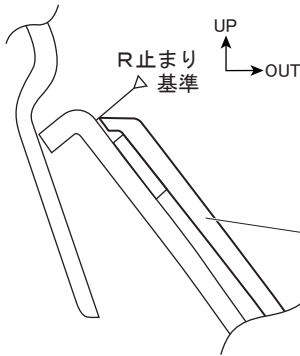
取付手順

I. 取付準備

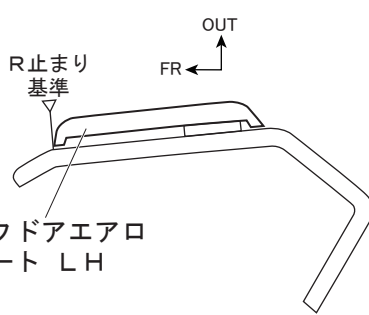
LH図示 ※RHも同様に



A部断面図



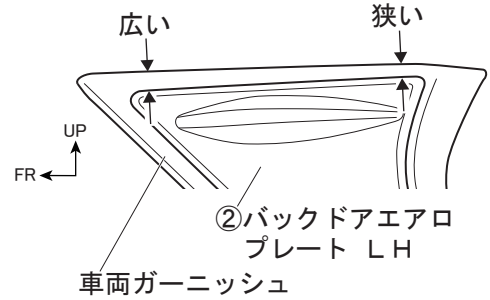
B部断面図



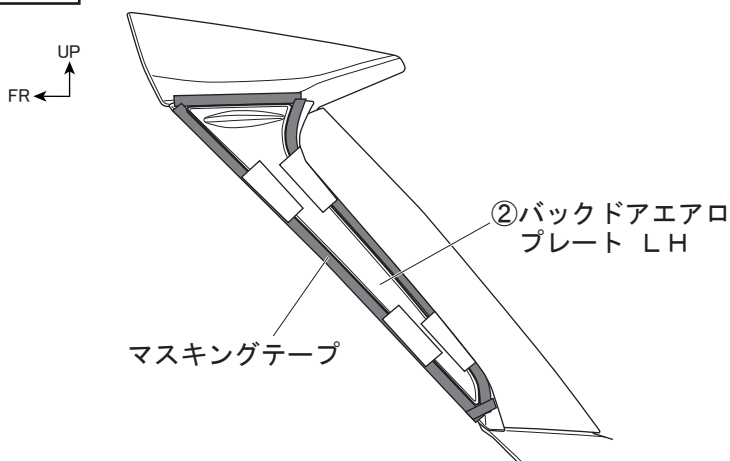
1. バックドア側面のガーニッシュ部に②バックドアエアロプレート LHを仮当てし、左図要領 (A部、B部断面図参照) で位置決めしてガムテープ等で仮固定する。

アドバイス

車両ガーニッシュと製品上部の隙間は、フロント側が広く、リヤ側は狭くなります。



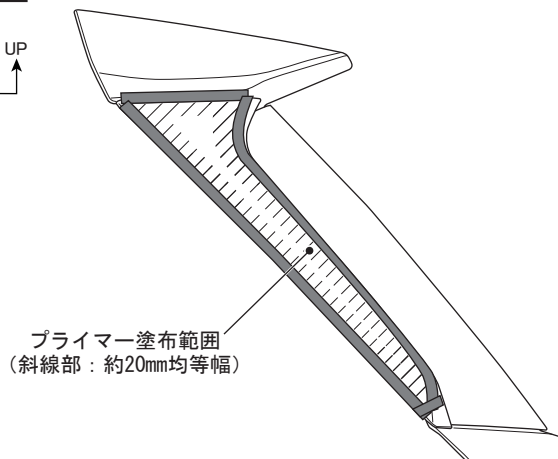
LH図示 ※RHも同様に



2. ②バックドアエアロプレート LH外周にマスキングテープを貼り付ける。

3. ②バックドアエアロプレート LHを取り外す。

LH図示 ※RHも同様に



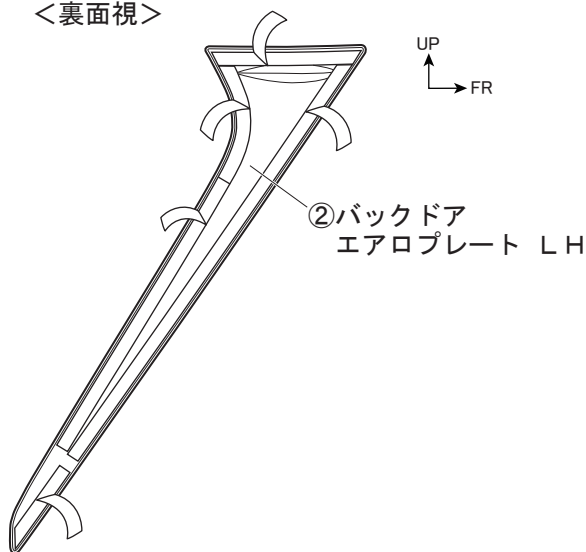
4. バックドア側面の左図斜線部を脱脂し、③PACプライマーK-500を塗布する。

アドバイス

- PACプライマーK-500は特に塗装面を黄変させるため、マスキングするか、はみ出したプライマーは、アルコール等で拭き取ってください。
- PACプライマーK-500塗布後は、常温で10分以上放置し、乾燥させてください。
- ボディコート処理されている車両は、マスキングをして両面テープ貼り付け部分を塗装用コンパウンドで除去してください。

LH図示 ※RHも同様に

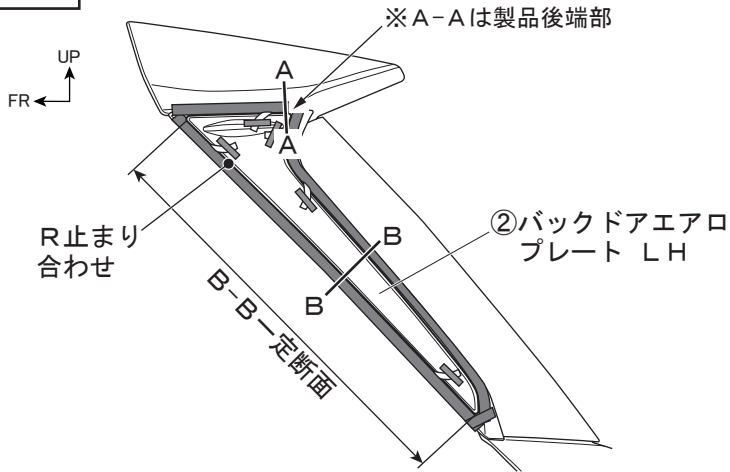
<裏面視>



5. ②バックドアエアロプレート LHの両面テープの離型紙を少し剥がし、表側へ折り返してマスキングテープで貼り付ける。
(5ヶ所)

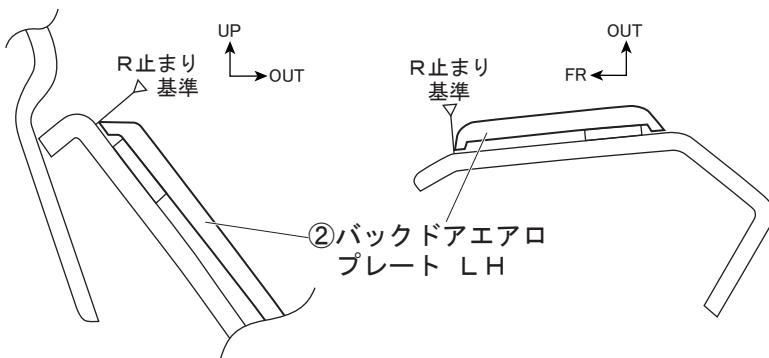
II. 取付け

LH図示 ※RHも同様に

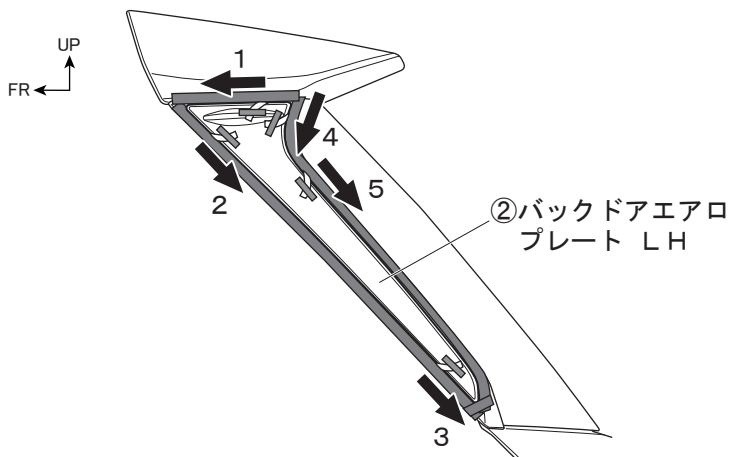


A部断面図

B部断面図



LH図示 ※RHも同様に



1. ②バックドアエアロプレート LHを取付準備と同様の手順で車両に仮固定する

2. 両面テープの離型紙を1~5の順に引き抜きながら圧着する。

3. ②バックドアエアロプレート LHの浮き、剥がれが無いことを確認し、両面テープの貼り付け後、3時間以上放置し再圧着する。

4. マスキングテープを剥がして取り付け作業終了。